



↑蔵書検索QRコード
(サンプル)

図書館だより

宮城県
仙台三桜高等学校
図書委員版 No.4
2023.07.13

夏季特別貸出 実施中

一人5冊まで
8/24(木)返却

《書店めぐりで選んだ本の紹介》

今号と次号は、図書委員広報係の作品です。

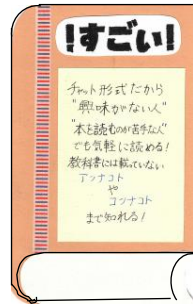
図書委員広報係が文章とポップで「書店めぐり」で選んだ本を紹介してくれました。
図書館内と昇降口ホールに、ポップを展示しています。「読んでみたい」と思える本がきっとあるはず。ご覧になってください。

※書店めぐり・・・図書委員が書店で、図書館に入れる本を選ぶ行事。年に2回実施。

図書館だよりは、
学校HPで公開中。
ポップをカラー
で見ることができます。



『首無館の殺人』⇒



←『「日本と世界」
が同時にわかる
すごい歴史』

『首無館の殺人』月原渉(著)新潮文庫

とある孤島の銘家の記憶を失った息女に仕えることになったシズカ。そこで起こる被害者が決まって首を切り落とされる連続殺人事件。彼女が感じた複数の違和感。誰も立ち入ることのできない中庭に静かに佇む幽霊土塔の言霊。全員が抱える決して明かすことのできない秘密が、事件の起こった夜複雑に混じり合う。



『「日本と世界」が同時にわかるすごい歴史』

非株式会社いつかやる(著)KADOKAWA

皆さんは歴史は好きですか？この本は亡くなった偉人達に直接インタビューして話が進んでいきます。会話をしながら解説をしていくので、文章が短くて読みやすく、本を覚えるのが苦手な人も楽しみながら読むことができます。難しい話は吹っ飛ばしてゼム。インタメのように歴史を楽しんでみてください！

『& TRAVEL 京都 2024』片桐圭子(著) 朝日新聞
「& TRAVEL」シリーズの最新2024年版もこれ1冊で京都を最高に満喫することができます。嵐山での食べ歩きや、レンタル着物、お寺巡り、カフェ巡り、世界遺産など、京都の魅力が全てつまっています。エリアマップや1日の理想的かつ王道の観光プランがまとめられているので修学旅行の下準備もバッチリ。これを読めばあなたも京都に行きたくなること間違いなし!!

『世界でいちばん透きとおった物語』

杉井光(著) 新潮社

電子化・映像化不可能なトリック!?

新感覚青春ミステリー小説!!

一度も会ったことがない父が大御所ミステリー作家だった!? 突然知らされる父の死。奇妙な成り行きから僕は亡くなった父の遺稿を探すことになるが...

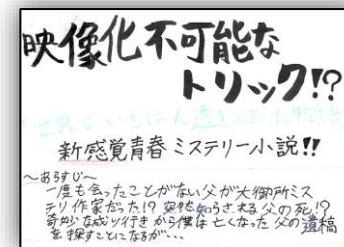
『サラと魔女とハーブの庭』

七月隆文(著) 宝島社文庫

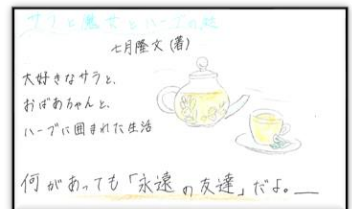
学校になじめなくなった由花は、空想の友達サラと会うためにおばあちゃんの家で身を寄せる。ハーブに囲まれた生活は、まるで魔法みたいな日々。そんな中で由花の成長と明らかになるサラの真実に、感動と共に希望で満ちあふれる一冊です。



『& TRAVEL 京都 2024』



『世界でいちばん透きとおった物語』



『サラと魔女とハーブの庭』

続きはウラへ



『ある日、歌い手を拾ってみた。』 事務員G(著) KADOKAWA
 就活が上手くいかない岩垣涼介。ある日、歌い手として成功を
 目指す中島友哉を拾うことには!? この出来事から2人の青春が動き
 出す! ラストには感動も...

ライブプロデューサーが手掛けた本だからこそ歌い手の困難や
 やりがいリアルに描かれていて読む手が止まらない一冊!!



『頭に来てもアホとは戦うな! 賢者の反撃系編』
 田村素井 太郎(著) 卓月日新聞

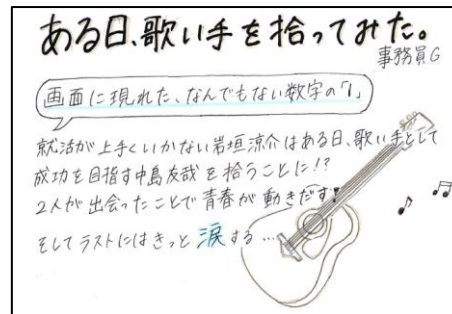
あなたは人間関係に困っていませんか?
 何れは、「この人とはどうしても馬が合わない、どうしよう。」
 と思っている方いませんか? この本はそういう人向けです。
 現代社会は人付き合い系吉本番大切だと思います。
 この本はその大切な人付き合いを円滑にしてくれます。



「あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。」

汐見夏衛(著) スターツ出版

初めて会ったはずなのにどこかで会ったことがあるよ
 うな不思議な感覚に陥る中学2年生の宮原涼と
 悲しい過去を持つ加納百合。この2人の切ない恋
 物語。



『ある日、歌い手を
 拾ってみた。』

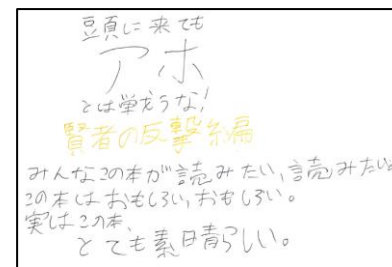
『レモンタルト』 長野まゆみ(著) 講談社
 同じ屋根の下で暮らす弟の私と義兄。日常生活で
 起こる散々な事件に遭遇していく私をいつも守って
 くれるのは義兄だった。そんな義兄に特別な感情を
 募らせていく…。私のちょっと不思議な毎日と
 特別な恋の行方を描く5本の連作集。

切ない現実に向かい向かっていく私の
 少しはかなく感じる1冊です!

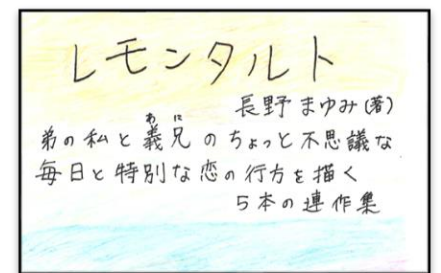


『宮城の教科書』 河合敦(著) JTBパブリッシング
 地元なのに意外と知らないことがたくさん!
 宮城の魅力を再確認できる本です。

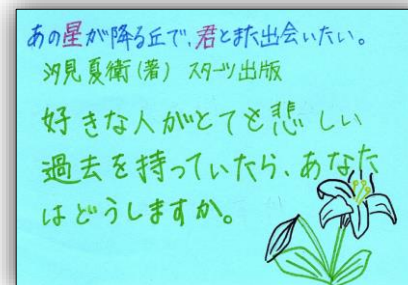
この本を読んで、宮城を
ずんだ もっと知って、観光
大福 しに行きませんか?



『頭に来ても
 アホとは戦うな!』



『レモンタルト』



『あの星が降る丘で、
 君とまた出会いたい。』



『宮城の教科書』